

目次

経営理念	1
ごあいさつ	2
環境マネジメント	
● 環境基本理念	3
● 住江織物グループ環境対策宣言	3
● 行動指針	4
● 環境推進体制	4
● 環境関連法規制の遵守状況	4
● 環境マネジメントシステムの導入状況	4
● 環境との関わり	5
● 第2次中期行動目標	5
● 2010年度の実績	6
環境負荷の低減	
● 省エネルギー(地球温暖化抑制)	7
● 省資源	8
● 産業廃棄物の発生抑制とリサイクル	8
● 環境汚染の防止	9
新たな環境マネジメント体制	
● エコチャレンジ2015	10
事業所での取り組み	
● 生産事業所の環境保全活動	11
環境会計	15
環境保全活動の歩み	16
環境に配慮した技術	
● 技術開発への取り組み	17
● LCAによる製品の環境配慮度の評価	18
● ECOS(エコス)循環型リサイクルタイルカーペット	19
● 生産段階	19
● 使用段階	20
● 廃棄段階	25
環境に配慮した商品	
● インテリア分野	26
● 産業資材分野	29
● 機能資材分野	31
外部コミュニケーション	33
会社概要	34

当環境レポートは、住江織物グループのお客様をはじめとする多くの利害関係者の皆様に、当社の環境保全活動の内容を理解していただくことを目的として毎年発行し、今年で第12刊目となります。

対象範囲および対象期間

対象範囲: 特に記載のない場合は、本社および主要生産拠点(奈良、大阪、滋賀各事業所) CO₂排出量は、主要グループ会社の合計値も記載しています。
対象期間: 主要データの集計期間は2010年6月～2011年5月とし、他の掲載内容は過年度分を含んでいます。

経営理念

会社の目的

よい製品を生産し、販売し、社業の隆盛をはかり社会の向上に貢献する。

社訓

業界の先駆者としての誇りをもち、和協、誠実、不屈の精神をつらぬく。

当社がこの経営理念を着実に実践し、インテリア業界におけるリーディング・カンパニーとしての存在価値を永続的に高めるには、その事業活動すべてにおいて、高い倫理観をもって行動することが重要です。

ここに会社及び役員、従業員が遵守すべき規範を企業行動規範として定め、コンプライアンス経営を推進します。

行動規範

- 1 法令その他の社会的規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行います。
- 2 よい製品を生産し、販売し、社会の向上に貢献します。
- 3 従業員の人格と健康・安全に配慮し、従業員を公正に処遇します。
- 4 ステークホルダー(利害関係人)との関係を尊重します。
- 5 良き「企業市民」として積極的に地域社会に貢献します。
- 6 地球環境への影響を重視し、環境保全に取り組めます。



ごあいさつ

「資源を未来へ」 サステナブル社会の構築を目指して

住江織物株式会社
代表取締役社長

吉川一三

甚大な被害をもたらした東日本大震災から10ヶ月あまりが過ぎ、わが国は復興の途にあり、原子力発電所事故の収束へ向けた努力を続けております。津波の被害は深刻で、自然の驚異は我々の文明をいともたやすく凌駕し、安全とされていた原子力発電所も破壊され、放射能汚染という未曾有の被害をもたらしました。

一昨年のカンクン合意から昨年末のCOP17を経て、CO₂削減に向けた世界的な取り組みは少しずつながら前進しておりますが、先進国と発展途上国の間ではいまだ隔たりが大きく、経済的な駆け引きの意味合いがむしろ強まっていると考えられます。

このような状況下ではありますが、温暖化は着実に進んでおり、一刻も早く、利害にとらわれない枠組みを取り決め、CO₂削減に向けた取り組みを前進させていかなければなりません。

当社は2011年7月に、循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS(エコス)」を発表しました。「ECOS」は、

ポストコンシューマ(市場から回収した廃材)による再生材比率を最大で77%まで高め、CO₂削減率も最大で43%(当社従来品比)を達成した、世界でも最高水準のリサイクル商品です。埋め立て処分となっていたタイルカーペットの廃材の削減と、限られた資源の循環を図るべく、当社が発売するタイルカーペットは順次「ECOS」に切り替えを進めております。「資源を未来へ」をキーワードに、インテリアのパイオニアメーカーとして、率先してサステナブル社会の構築に貢献してまいります。

2011年6月よりスタートした、第3次中期行動目標である「エコチャレンジ2015」では、対象とする連結子会社の範囲を大幅に拡大しており、グループ全社で目標達成へ向け積極的に取り組んでいく所存ですので、みなさまには忌憚無きご意見を頂戴できれば幸いです。

2012年1月